

# ●1分で見る世界景気／2018年2月末から見た2018年3月動向

※世界同時好況と米国利上げによる視界不良が同居する世界経済の中、日本は次世代への歩みを踏み出せるか？

## 欧州

### 英国/EU離脱交渉、第二段階（通商協議）

- ・17年GDP+1.9%→+1.8%
- ・2月製造業PMI(景況感指数)55.2

2018年政治リスク

- ・ドイツ、中東欧、イタリア、スペイン
- ・英国のEU離脱交渉 ・欧州制度改革

ドイツ・メルケル首相政治リスクくすぶる

・EU

- 1月消費者物価指数+1.3% (前年同月比)
- 12月失業率8.7 (横ばい) 約9年ぶり低水準
- 2018年経済見通し
- 上方修正+2.0% (+2.1%)

欧州中銀 経済見通し改善

金融緩和縮小決定

- ・月額600億ユーロ買入れ→300億ユーロ
- ・期間を17年12月末→18年9月末まで延長

・6月理事会に注目集まる

## 中国

地政学リスク

17年GDP +6.9% (昨年6.7%)

- ・1月新車販売+11.6% (前年同月比)
- ・2月 製造業PMI (景況感指数) 50.3
- ・2月消費者物価指数+2.9%

## 米国

### トランプ政権

大型減税で国内投資と雇用増の兆し

景気好調 地政学リスク

2017年GDP+2.3% (昨年+1.5%)

※2018年予想+3.0%

1月雇用+20万人

賃金上昇率+2.9%

賃金上昇→景気過熱&利上げ連想で世界株安

新車販売+1% (前年同月比) →営業日を考慮すると実質▲3%

・新築戸建販売件数1月+6.8% (前年同月比)

F R B /パウエル新議長就任

世界同時好況&米国利上げの視界不良&地政学リスクが同居する中、次世代へ先回りできる国は？

## 新興国 回復の傾向鮮明に

- ブラジル/3四半期連続プラス、政策金利0.5%下げて史上最低の年7%金利へ
- インド/積極予算(+10%)で2018年度8%台の経済成長を自指す
- ベトナム/17年GDP+6.81% (目標+6.7%)
- フィリピン/17年GDP+6.7% (昨年+6.9%)
- イラン/17年GDP+3.5% (昨年+12.5%) で急減、地政学リスクが影響か？

## 日本

経済堅調、雇用改善 地政学リスク

- ・内閣府/12月景気動向指数一致指数120.7 (1985年以降、最高値)
- ・2017.10-12月GDP +0.5% (年率換算、前期比/8四半期連続プラス)
- ・上場企業の7割が増益 (純益36%増、2017.4-12月)
- ・社会保障、賃金上昇、働き方改革の歩み、ややもたつく

●日銀 緩和維持決定

金融緩和が量から金利へ

①短期金利 (-0.1%) ②長期金利を0%へ誘導決定

緩和マネー

緩和マネー